

令和6年度採用

群馬県公立学校教員選考試験問題

中学校（音楽）

受験番号	中音楽	氏名	
------	-----	----	--

注意事項

- 1 「開始」の指示があるまでは、問題用紙を開かないでください。
- 2 問題は、1ページから7ページまであります。「開始」の指示後、すぐに確認してください。
- 3 解答は、すべて解答用紙に記入してください。
- 4 「終了」の指示があつたら、直ちに筆記具を置き、問題用紙と解答用紙の両方を机の上に置いてください。
- 5 退席の指示があるまで、その場でお待ちください。
- 6 この問題用紙は、持ち帰ってください。

※ 1 は音楽を聴いて答える問題です。

- 1 これから聴く旋律を解答用紙に書きなさい。なお、調、拍子、小節数は以下のとおりである。

D - d u r (ニ長調)、4分の4拍子、8小節

- ・調号、拍子記号は自分で書くこと。
- ・旋律は、8小節を通して、全部で4回繰り返す。
- ・曲間は、10秒とする。

- 2 第1学年において、「聖者の行進」を教材に、アルトリコーダーを用いて器楽の学習を行った。後の(1)～(5)の問いに答えなさい。

- (1) バロック式のアルトリコーダーで演奏する際、ア、イの運指について、押さえる箇所が分かるように、図の○を塗りつぶしなさい。
- (2) 【表1】は、リコーダーの奏法についてまとめたものである。①、②に当てはまる語句や文をきなさい。

【表1】

奏法	演奏の仕方
スタッカート奏法	タンギングをし、一つ一つの音を短く切って弾むように演奏する。
【 ① 】奏法	タンギングをし、音と音の間に短い隙間をつくって演奏する。
ポルタート奏法	息の流れを切らずに、1音ずつタンギングをしながら、滑らかに演奏する。
レガート奏法	【 ② 】

- (3) 曲にふさわしい表現を工夫するために、Aの部分をスタッカート奏法とポルタート奏法で試す活動を行った。その意図を書きなさい。

(4) Bの部分における表現の工夫について、予想される生徒の考えを書きなさい。

(5) 器楽分野における「技能」に関する資質・能力について、「中学校学習指導要領（平成 29 年告示）解説 音楽編」では、以下のように示されている。次の①、②に当てはまる語句を書きなさい。

A 表現 (2)ウ

(イ) (①) を生かし、全体の響きや各声部の音などを聴きながら (②) と合わせて演奏する技能

3 第3学年において、「箏の音色や奏法を生かして、さくらのイメージにあった音楽をつくろう」という題材を設定し、箏を使った創作活動を行った。次の(1)～(3)の問いに答えなさい。

(1) この題材において、毎時間授業の冒頭で、日本古謡「さくら さくら」を箏で演奏する活動を行った。次の①、②の問いに答えなさい。

① この曲を演奏する際の調弦の名称と、考案したとされる人物名を漢字で書きなさい。

② この活動を取り入れる意図について、「箏の演奏に慣れること」の他に考えられることを書きなさい。

(2) 創作活動の前に、箏の様々な奏法を試す活動を取り入れた。次の①、②の問いに答えなさい。

① 基礎的な奏法である「押し手」について説明しなさい。

② 「押し手」の範奏を示す際に、ICTの投影機能を使って教師の手元を大きく見せた。このICT活用の効果を書きなさい。

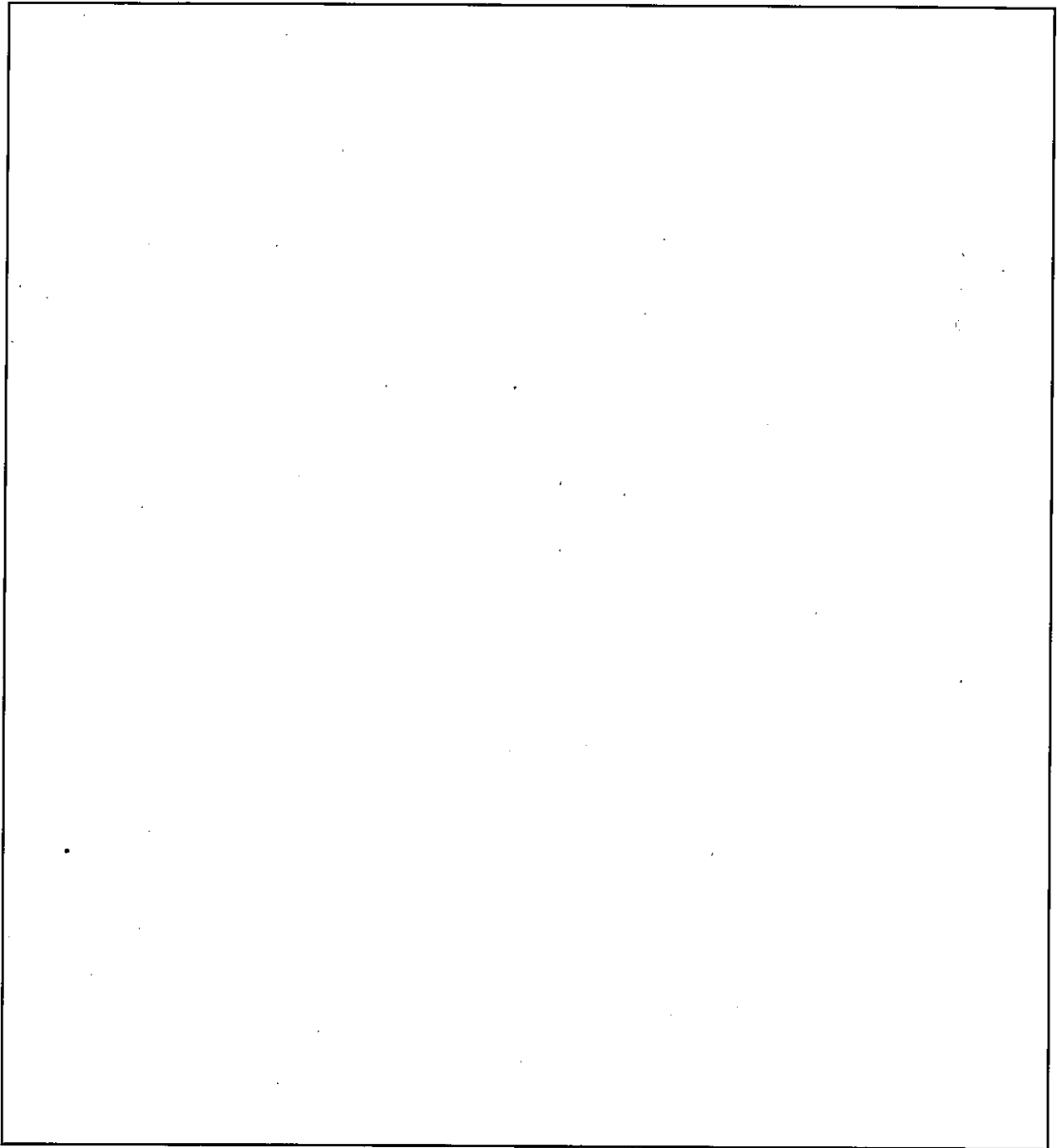
(3) 生徒が各自「さくら」のイメージをふくらませながら、表現を工夫して日本古謡「さくら さくら」の前奏をつくる活動を行った。次の①～③の問いに答えなさい。

① 隣合う弦に移行することを条件に、即興的に旋律リレーをすることとした。生徒に例示する4分の4拍子、2小節の旋律をつくり、五線譜に書きなさい。ただし、一の弦をホ音で調弦するものとする。

② つくりたい旋律のイメージがもてずに活動が停滞している生徒に対して、主体的に取り組めるようにするために、どのような手立てが考えられるか書きなさい。

③ 「花びらが舞い落ちる感じを表したい」と発言した生徒に、どのような助言ができるか、音楽を形づくっている要素や奏法に着目して具体的に書きなさい。

- 4 第1学年において、「歌詞が表す情景を思い浮かべながら、思いをこめて歌おう」という題材を設定し、「赤とんぼ」を教材に「表現（歌唱）」の学習を行った。後の(1)～(3)の問いに答えなさい。



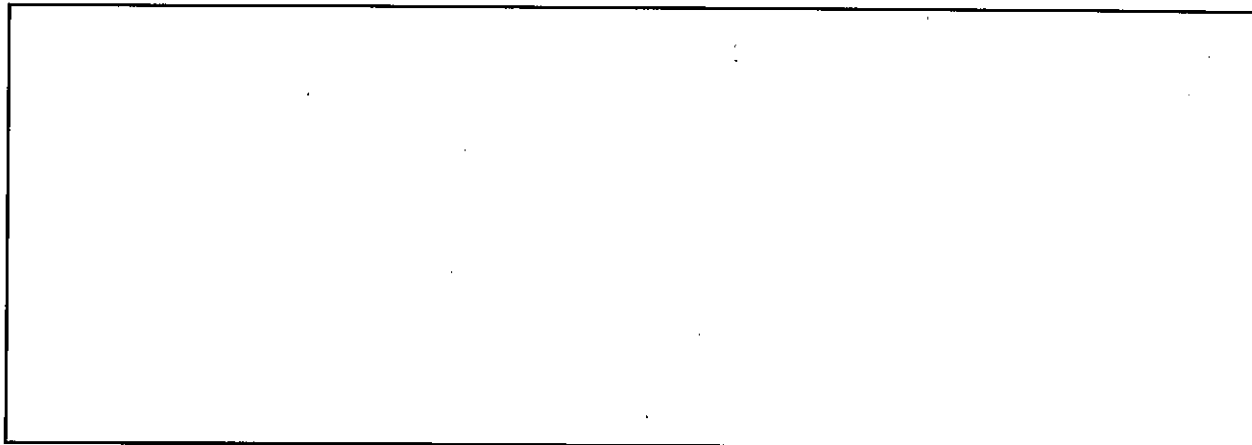
- (1) この曲の作曲者名を漢字で答えなさい。また、この作曲者の代表的な童謡作品を1つ書きなさい。
- (2) 以下の文は、「中学校学習指導要領（平成29年告示）解説 音楽編」の第1学年の内容の一部である。次の①、②に当てはまる語句を書きなさい。

A 表現

- (1) 歌唱の活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。
ア 歌唱表現に関わる知識や技能を（ ① ）しながら、歌唱表現を（ ② ）すること。

- (3) 歌詞から思い浮かんだ情景や心情をもとに、どのように歌いたいかについて考える活動を設定した。以下は生徒が記入したワークシートである。後の①～④の問いに答えなさい。

【生徒が記入したワークシート】



- ① a、bに当てはまる歌詞を書きなさい。
- ② 歌詞の表す情景や歌詞から思い浮かべたことを共有するために、考えられる学習活動について書きなさい。
- ③ 1番と4番を比較して、情景や心情を想像する活動を取り入れた。(あ)に入る「想像した情景や心情」を書きなさい。
- ④ 楽譜の※の部分について、生徒が「歌詞の表す情景が伝わるように歌いたい」という思いをもった。「旋律の動き」と「強弱の変化」に着目して、工夫させたい点を具体的に書きなさい。

- 5 第2学年において、「歌舞伎の長唄に親しみ、その魅力を味わおう」という題材を設定し、次のような指導計画のもと、「A表現（歌唱）」及び「B鑑賞」の学習を行った。後の(1)～(7)の問いに答えなさい。

【指導計画】

時	◆ねらい ○主な学習活動
1	<p>◆歌舞伎における長唄の役割について知り、長唄の音色や響き及び言葉の特性と曲種に応じた発声との関わりについて理解する。</p> <p>○(あ) オペラ「アイーダ」のARIAと歌舞伎「勅進帳」の長唄を比較鑑賞し、声や楽器の音色等について気付いたことや感じ取ったことを交流する。</p> <p>○題材全体の見通しをもつ。</p>
2	<p>◆長唄の声の音色、旋律を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、曲にふさわしい歌唱表現としてどのように表すか思いや意図をもつ。</p> <p>○(い) 「これやこの～海津の浦に着きにけり」の部分【資料1】を聴いたり、口ずさんだりしながら、どのように工夫して歌えばよいかワークシートに記入する。</p> <p>○個人で考えたことをもとに、グループで様々な工夫を試しながら、どのように表現するか話し合う。</p>
3	<p>◆創意工夫を生かした表現で歌うために必要な発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付ける。</p> <p>○(う) 前時に考えた創意工夫を生かした表現をするために必要な発声、言葉の発音、身体の使い方などを個人やグループで追求する。</p> <p>○グループごとに演奏を発表し合い、互いの演奏のよさや面白さを交流する。</p>
4	<p>◆歌舞伎における長唄の役割や特徴について、その背景となる文化や歴史と関連付けて理解し、根拠をもって批評して、歌舞伎音楽のよさや美しさを味わう。</p> <p>○歌舞伎「勅進帳」を鑑賞し、(え) 前時までの学習を踏まえて歌舞伎音楽のよさや魅力について批評文にまとめる。</p> <p>○(お) 自分の書いた批評文をもとに、友達と意見交流をする。</p> <p>○題材の学びを振り返る。</p>

- (1) 我が国や郷土の音楽の学習に関することについて、「中学校学習指導要領（平成 29 年告示）解説 音楽編」の「第 4 章 指導計画の作成と内容の取扱い」では、以下のように示されている。後の①、②に当てはまる語句を書きなさい。

(イ) 民謡、長唄などの我が国の伝統的な歌唱のうち、生徒や学校、地域の実態を考慮して伝統的な声や歌い方の特徴を感じ取れるもの。なお、これらを取り扱う際は、その（ ① ）を通して、生徒が我が国や郷土の伝統音楽のよさを味わい、（ ② ）をもつことができるよう工夫すること。

- (2) 第 1 時の（あ）について、次の①～③の問いに答えなさい。

- ① オペラ「アイダ」の作曲者名を書きなさい。
- ② 歌舞伎「勧進帳」における長唄の演奏形態を説明しなさい。
- ③（あ）の学習活動を設定した意図を書きなさい。

- (3) 第 2 時の（い）の長唄はどの場面で演奏されるか、【資料 1】を参考にして、下のア～エから選びなさい。

- ア 義経一行が、奥州平泉に到着した場面
- イ 義経一行が、安宅の関所近くに到着した場面
- ウ 義経が、富樫に危機を救ってくれたお礼を言う場面
- エ 義経が、弁慶に危機を救ってくれたお礼を言う場面

【資料 1】

- (4) 第 3 時の（う）の活動で、生徒から「声の響かせ方が難しい」という発言があった。この発言に対して考えられる支援や助言について書きなさい。

- (5) 第 4 時の（え）の学習活動で行う「音楽の鑑賞における批評」とは、どのようなことか。「中学校学習指導要領（平成 29 年告示）解説 音楽編」の「第 2 章 音楽科の目標及び内容」を踏まえて説明しなさい。

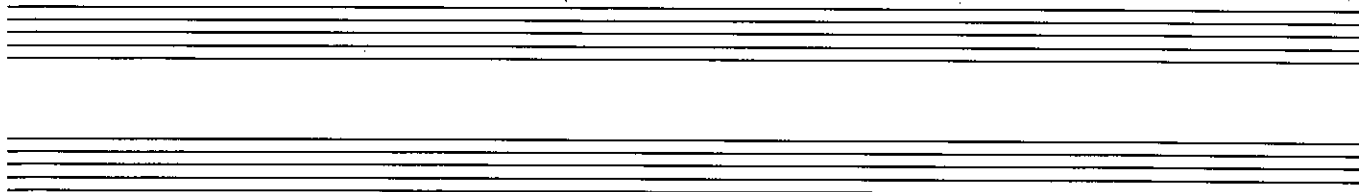
- (6) 第 4 時の（え）の学習活動において、何をどのように書けばよいか分からず困っている生徒に対して、歌舞伎音楽のよさや面白さに着目させるために、考えられる支援や助言を書きなさい。

- (7) 鑑賞の学習において、第 4 時の（お）の言語活動を位置付ける意義と留意点について、「中学校学習指導要領（平成 29 年告示）解説 音楽編」の「第 4 章 指導計画の作成と内容の取扱い」を踏まえて書きなさい。

音楽 解答用紙	2枚中の1	受験 番号	中音楽	氏 名	
------------	-------	----------	-----	--------	--

(6年)

1



2

(1)	ア		イ	
	(2)	①		②
(3)				
(4)				
(5)	①		②	

3

(1)	①	調弦の名称：	人物名：
	②		
(2)	①		
	②		
(3)	①		
	②		
	③		

音楽 解答用紙	2枚中の2	受験 番号	中音楽	氏 名	
------------	-------	----------	-----	--------	--

(6年)

4	(1)	作曲者名 :		童謡作品 :	
	(2)	①		②	
(3)	①	a		b	
	②				
	③				
	④				

5	(1)	①		②	
	(2)	①			
②					
③					
(3)					
(4)					
(5)					
(6)					
(7)	意 義 :				
	留意点 :				

以下はあくまでも解答の一例です

音楽 解答用紙	2枚中の1	受験番号	中音楽	氏名	(6年)
------------	-------	------	-----	----	------

1【解答(20点)】



2	(1)	ア		イ		(3点)	(3点)	
		(2)	①	ノンレガート(3点)	②	最初の音だけタンギングをし、そのあとの音は息の流れを切らずに演奏する(5点)		
	(3)	奏法による曲想の違いを感じ取ることができるようにするため。等(6点)						
	(4)	・長く伸ばす音のところは、滑らかな感じが出るようにポルタート奏法で演奏したい。 ・アルト1が主旋律なので、アルト2が大きくなりすぎないようにバランスを考えて演奏したい。等(8点)						
	(5)	①	創意工夫	②	他者	(各3点計6点)		

3	(1)	①	調弦の名称: 平調子(3点)	人物名: 八橋 検校(3点)
		②	箏の音色や響きの特徴や平調子による旋律の特徴を感じ取り、表現したい音楽のイメージをもたせるため。等(5点)	
	(2)	①	左手で弦を下へ押し、その弦の音の高さを上げる奏法。柱の左側10~12cmぐらいの位置を人差し指と中指で押す。「弱押し」は半音高い音になり、「強押し」は一音高い音になる。(6点)	
		②	生徒が弾き方を確認することができる。等(5点)	
(3)	①			
	②	・手本となる表現を例示したり、他の生徒の取組を意図的に紹介したりし、感受したことや工夫したこと等を問い掛けることで活動の見通しをもたせる。 ・どのようなイメージにしたいのかを具体的に聴き取り、いくつかの表現方法を提案する。(8点)		
	③	・「音の高さ」に着目し、「舞い落ちる」感じを下降する旋律で表してみるよう助言する。(10点) ・「裏連」の奏法を様々な音の高さで試すよう促し、比較しながらイメージに近い表現を探るよう助言する。等		

以下はあくまでも解答の一例です

音楽 解答用紙	2枚中の2	受験番号	中音楽	氏名	(6年)
------------	-------	------	-----	----	------

4	(1)	作曲者名：山田 耕祐(作) (3点)		童謡作品：「からたちの花」「この道」「ペチカ」「待ちぼうけ」「砂山」「あわて床屋」等 (3点)		
	(2)	①	得たり生かしたり (3点)	②	創意工夫 (3点)	
	(3)	①	a まぼろしか (3点)	b 絶え果てた (たえはてた) (3点)		
		②	<ul style="list-style-type: none"> ・作詞者の言葉を紹介するなど、曲が生まれた背景について触れる活動。 ・歌詞を読み、言葉の意味を確かめながら情景を想像する活動。 ・歌詞の内容から感じたことや考えたことを交流させる活動。 等 (6点) 			
③		4番のみ現在のことを歌っている。今、目の前にいる一匹の赤とんぼに幼い頃の思い出を投影し、愛おしむ気持ち。 等 (6点)				
	④	<ul style="list-style-type: none"> ・クレッシェンドを生かし、歌詞の情景が伝わるように曲の山を意識して歌う。 ・「いつの日か」の部分は、<i>p</i> (ピアノ)なので昔をしみじみと思い出す感じで柔らかく歌う。 ・「いつの日か」の部分は、旋律が下行しているので、落ち着く感じで柔らかく歌う。 等 (「旋律の動き」または「強弱の変化」のいずれかに触れていれば5点、両方書けていれば10点)				

5	(1)	①	表現活動 (3点)	②	愛着 (3点)	
	(2)	①	ヴェルディ (3点)			
		②	唄を担当する唄方、三味線を担当する三味線方、笛や打楽器で構成される囃子方で演奏される歌舞伎の音楽のこと。等 (6点)			
		③	<ul style="list-style-type: none"> ・世界には多様な音楽があり、それぞれに声の音色や響き及び言葉の特性と曲種に応じた発声との関わりがあることを理解できるようにする。 ・声や楽器の音色によって生み出される雰囲気の違いを感じ取り、表現活動に生かすことができるようにする。 等 (6点) 			
	(3)	イ	(3点)			
	(4)	<ul style="list-style-type: none"> ・背筋を伸ばして、おなかの底から息を出すような感じで唄うよう助言する。 ・言葉がしっかりと伝わる発音をするように助言する。 ・模範演奏を聴いたり、まねたりするように助言する。 等 (8点) 				
	(5)	音楽のよさや美しさについて、言葉で表現し他者と伝え合い、論じ合うこと。 等 (8点)				
(6)	<ul style="list-style-type: none"> ・長唄の体験を振り返るように伝え、自分なりの言葉でまとめるように助言する。 ・自分が1番興味をもった場面を振り返らせ、その場面における登場人物の気持ちと音楽との関わりについて考えるように助言する。等 (8点) 					
(7)	意 義：様々な感じ取り方があることに気づき、音楽に対する価値意識を広げることができる。 等 (5点)					
	留意点：聴き返すなどして、言葉で表したことと音や音楽との関わりを捉えられるようにする。 等 (5点)					